

ゆかいな仲間 in 鹿児島 2018/7/28

回復期作業療法における ペア型グループワークの可能性

なかなか前向きになれない回復期の患者たちが、
グループに参加し、元気になり、明日が見えてくるように、
作業療法士は「やさしい環境」と「もっとむずかしい環境」のある
作業のグループをつくる

7月28日（土）

1部 13:30～15:00 ペア型グループワークの可能性

ペア型グループワークに実際に参加した患者と作業療法士を対象にした研究から、その可能性について話します。講師は2018年6月発行の機関紙作業療法37巻3号に掲載の「回復期の身体障害作業療法におけるグループワークの可能性—患者の経験と作業療法士の経験に着目して—」の著者 小田原悦子*です。

2部 15:15～17:00 ペア型グループワークの実際とディスカッション

兵庫県立総合リハビリテーションセンター作業療法士 柴田八衣子が、経験を交えて実践についてお話します。その後、参加者のディスカッション、質疑応答を行います。

対象：回復期作業療法におけるグループワークに興味のある作業療法士と学生の方々

会場： 宝山ホール第2会議室（鹿児島市山下町5-3） 会費： 1,500円

申込み先：行徳真理宛（mulberry559@yahoo.co.jp, 080 - 6435 - 7464）

定員：20名（定員になり次第締め切ります。）

小田原悦子* 鹿児島大学医療短期大学部に勤務、南カリフォルニア大学で博士号取得、
聖隷クリストファー大学にて教育・研究に従事。

柴田八衣子** 鹿児島大学医療短期大学部卒業、兵庫県立リハビリテーションセンター勤務。